

倉敷中央病院呼吸器内科

【概要】

主任部長： 石田 直（いしだ ただし）

医師数： 部長5名、医長4名、医員9名

日本内科学会総合内科専門医10名，同 指導医5名

日本呼吸器学会専門医9名，指導医5名

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医3名，同 指導医2名

日本感染症学会専門医3名，指導医3名，日本アレルギー学会専門医2名

日本化学療法学会抗菌薬認定医1名，指導医2名

日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医3名，同 指導医3名

日本がん治療認定医機構がん治療認定医2名

米国胸部医会フェロー1名，インフェクション・コントロール・クター4名，経営学修士 1名

当科は、病床90-100床を有する日本でも屈指の規模を持つ呼吸器内科です。あらゆる呼吸器疾患を扱いますが、特に呼吸器感染症の分野では本邦での指導的立場にあります。また、がん拠点病院として多くの肺癌患者の治療を受けもっています。国内外の学会活動、講演や論文投稿も積極的に行っています。当科の研修により、急性期治療、集中治療も含め数多くの症例を経験でき、呼吸器内科医として十分な力量を養成できます。

呼吸器内科が担当する疾患分野は、腫瘍、感染症、アレルギー、免疫、各種呼吸不全と多岐にわたり、また救急疾患の多い科です。そのために幅広い知識と実践的な臨床能力が要求されます。当科では年間入院患者約1800例、外来延べ患者約25000例の診療に当たっており、豊富な臨床経験を積むことが可能です。特に感染症やびまん性肺疾患の領域では全国でも屈指の症例数を有しており、日本呼吸器学会や日本感染症学会のガイドライン等の作成に参加しています。またシニアの研修中に3ヶ月間のICUローテートを行い、集中治療、呼吸管理について研修することも可能です。肺癌についても年間新規患者は300例を超え、全国トップクラスの症例数を有しています。西日本がん研究機構や厚生労働省の斑研究を中心とした臨床試験および最新の治験にも数多く参加しており、標準治療は言うまでもなく最新の治療についても経験・習得できます。臨床試験についての知識・経験も十分に得られます。

【行動目標】

- ・ 救急疾患およびICU入室等の重症例は積極的に担当する。
- ・ 自分が担当した患者について集学的治療からターミナルケアまでを行えるようにする。
- ・ 患者への接遇に留意し十分なインフォームド・コンセントができるようにする。
- ・ 他科や他施設からの依頼に対して適切に対処できるようにする。
- ・ ジュニアレジデントに対して適切な指導やアドバイスが行えるようにする。
- ・ 学会、研究会等に積極的に参加し、可及的発表を行うようにする。
- ・ 研修期間中に海外学会に出張して発表を行う。
- ・ 肺機能講習会に1回出席する。
- ・ 研修期間中に、症例報告や臨床研究を必ず学会誌や専門誌に1編以上を発表する。

【シニア修了後の進路】

当院で呼吸器内科専門医コースに進む、大学院進学または医員として大学医局に入る（希望の大学医局可能）。他の病院にて臨床を続ける（京大呼吸器内科および他大学の関連病院、または医局人事を離れての病院赴任も可能）、などの進路が考えられる。

【子育て支援について】

当科では、出産、育児（男女とも）で大変なときは、遠慮しないで申しければ、皆で仕事をカバーする雰囲気が出来上がっています。産休や育休についても可及的の希望に沿うように配慮いたします。またパートでの勤務を希望される場合も相談に乗ります。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
AM		・呼吸器外科，放射線科との肺癌カンファレンス	・小グループカンファレンス ・レジデント抄読会	・肺癌抄読会 ・病棟廻診	
PM		・気管支鏡検査	・気管支鏡検査	・気管支鏡検査	
夕刻～	・入院・病棟カンファレンス ・間質性肺炎カンファレンス ・肺癌カンファレンス	・呼吸器外科との合同カンファレンス ・薬剤説明会	・レジデント勉強会 ・感染症抄読会（1/M） ・膠原病内科合同カンファレンス(1/M) ・肺炎カンファレンス	・入院・病棟カンファレンス ・呼吸器外科・病理・放射線科合同CPC(1/2M) ・間質性肺炎カンファレンス ・肺癌カンファレンス	不定期の勉強会，講演会